

あおぞらニコニコ通信 2020

2020

12月号

発行：社会福祉法人三田谷治療教育院
 児童発達支援センター 明石市立あおぞら園 / 児童発達支援事業 明石市立きらきら
 〒674-0092 明石市二見町東二見 1836-1 ふれあいプラザあかし西 2階
 TEL.078-945-0280 FAX.078-945-0281 http://sandaya.or.jp/aozoraen/

浅原奈緒子園長のご挨拶

とても寒い日や暖かい日があり、体調管理が難しい毎日ですが、あおぞら園では、お天気のいい日には、園庭で遊んだり、12月はかぶほりにでかけたり、自然にふれる機会を作りながら過ごしています。専門的な療育を行うことはもちろんですが、子どもたちは自然にふれることでとても成長してくれたと実感しています。健康教育も定着してきています。手洗いなどの習慣がつくことで清潔なことが心地いいと思う気持ちが、たくさん子どもたちに育まれてきました。

再び、新型コロナウイルス感染が広がり、前回よりも深刻な状況がある中、学校園は通常通りの生活が続いているなど「感染症予防」と同時に「感染したときの対策」を考える時期にきているそうです。

あおぞら園でも、夏の間少し緩んでしまっていた感染症対策を改めて見直し、換気と室内の消毒や手洗いの徹底に努めています。これからも、感染症対策に、より一層努めながらあおぞら園でできることを精一杯やっていきたいと思えます。

ご家庭でも、感染症対策を進めていただきながら、いつもとはひと味違う・楽しいお正月を過ごしていただきたいと思えます。



牛のエサやりに取り組む園児



かぶ堀りを楽しむ園児

アートシップ明石 2020 ～個性豊かなあおぞら園のこども達のアート～

今年もアートシップにあおぞら園・きらきらからも大きな作品を出展しました。今回はお子さまの制作中の写真も入れた作品にしました。お子さまの写真も入れることでより制作の様子が伝わったり、あおぞら園・きらきらのことを知ってもらったりできたのではないかと思います。毎年、どんな作品にするか悩んでしましますが、一人ひとりの作品を並べて完成した作品を見ると今年もとても素敵なものができました。

アートシップにはあおぞら園・きらきらのように平面の作品だけではなく、立体的なものや2mほどの大きな作品等いろいろなものが展示されます。あおぞら園・きらきらももっと子どもたちの力が発揮できるものにどんどん挑戦していきたいと思えます。成人の方の作品も多く、自分の好きなこと、得意なことを表現されている作品を見るとお子さまたちにも自分の好きなこと、得意なことを見つけていってもらえたら良いと感じます。

また、アートシップのように地域の中で発信できる場があることはとても良い機会だと感じます。

これからもお子さまの素敵なものを地域の方々に伝えていきたいと思えます。

個人出展もできますので、ぜひ、興味のある方は出展してみませんか？(泉川)



アートシップ明石 2020



あおぞら園園児たちの作品

ひとりひとりが社会福祉 HERO'S ～男性保育士座談会にあおぞら園大向主任が参加しました～

11月に社会福祉法人 全国社会福祉協議会 全国社会福祉法人経営者協議会主催の「福祉のお仕事ぶっちゃけ座談会」の中の「男性保育士座談会」に参加させていただきました。当日は、福祉系の学生の皆さんに社会福祉の仕事の魅力を伝えるということで、大阪府の保育園の保育士、東京都の保育園の保育士の方々と ZOOM で仕事の内容、仕事の醍醐味や大変なこと、現在の仕事についてきっかけなどをお話しさせていただきました。

普段、男性保育士同士で今回のような話をする機会があまり無いので、他の方がどのような経緯で仕事についたのか、どういう思いで仕事を続けているのか他の人の話を聞いたり、自分が話をさせていただく中で初心を思い出す機会となりました。

今回の座談会を通して、保育士を目指している学生の方たちに“保育士＝保育園や幼稚園の先生”という選択肢だけではなく、いろんな分野で働けることを知ってもらったり、すごくやりがいのある仕事だということを知ってもらえる機会になればと思います。

福祉 HERO'S ホームページにて近日公開！



子どもと遊ぶ大向主任



サポーター養成講座を開催しました！！～あおぞら園の応援団づくり～

毎年、あおぞら園をサポートしていただくボランティアを養成することを目的に、発達障害などの講義を1日とあおぞら園でのボランティア体験1日という2日間の講座を開催していますが、今回はコロナ禍ということでZoomアプリを使った短縮版での開催とさせていただきました。

当日は動作確認のための時間も取って十分に準備し、ご連絡くださった3名の方に参加していただきましたが… 初めてのということもあって、開始時間を過ぎても全員の通信状態を安定して保つことが難しく、その後も懸命な努力を続けましたが、講義が半分しかできないまま時間切れとなってしまいました。

顔を見てお話しする形でできれば良かったのですが、残念ながら後日配信した動画を見ていただくことになりました。参加してくださった方々には本当に申し訳なかったと反省しています。しかし、まだまだこうした状況は続きそうですので、次の機会には不具合がないようにしたいと思います。

それにしても、早くみんなが気軽に会って話せるようになることを心から願います。



吉川副施設長

あかしに集まれ！みんな本気フェスタ ～ユニバーサル社会の実現に向けてのイベント～

コロナ禍で開催が危ぶまれましたが明石市委託事業、特定非営利活動法人明石障がい者地域生活ケアネットワーク（略称：135E ネット）主催の「あかしに集まれ！みんな本気フェスタ」が12月5日、パピオス明石2階あかし市民広場で無事執り行われました！※企画は明石市立あおぞら園・きらきら

ユニバーサル社会とは、兵庫県ホームページより「年齢、性別、障害の有無、文化などの違いにかかわらず、だれもが地域社会の一員として支え合うなかで安心して暮らし、一人ひとりが持てる力を発揮して元気に活動できる社会」とあります。本イベントは「持てる力を発揮して」というところを「本気になる」と解釈し、今回は障害当事者の方々からの障害理解啓発動画をはじめ、明石市内で「本気で頑張っている」活動やお仕事を中心に大型液晶ビジョンを使って映像上映とポスター展示という形で実施しました。

当日は、新型コロナの大変な状況下でのイベント開催ということもあり、たくさんの方々に応援や励ましの言葉をかけていただき、大成功であったとイベントを開催したメンバー全員も感じています。

「障害」が「障害」でなくなる社会に向けて、引き続きイベント含め、啓発活動に取り組んでいきます。



実行委員と協力者との集合写真